

# いわき毎夕

発行所 常磐市三崎243  
いわき毎夕新聞社  
平市街屋町19  
富岡町仲町

時計のサービス時代来る  
2割程度安くになりました  
常磐炭礦指定  
ハチヤ時計店  
常磐市電二五四

## 効果あがる精薄児教育 杉の子、あすなる学級

湯本二小

精薄児の特殊教育は平六小、小名浜一小で行われて  
いるが、今年四月から常磐市湯本二小でも乗りだし  
大きな効果をあげて父兄たちによるこぼれている。

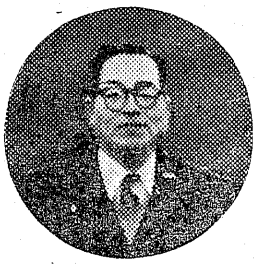
## 必要な忍耐と愛情

二、三、四年生で編成しているから九人というのが理想的とい  
杉の子学級と五、六年生がわかれていたがそれだけに担任教  
師の努力は大へんのもので強い  
内小学校からあつめた三十五人、忍耐と深い愛情、明るく知性  
を指導している。精薄児の学級と勇気が必要であるとい  
は最初五人、三年くわいたって

## 教育は解放的に 劣等感に悩む児童ら

担任教師の野木先生は次のように精薄児には遺伝性ばかりで  
ないといふので家庭に生れる  
のいふことだといふので

## 民主陣営の礎石



石城地方の社会党を論ずるときに社会党発展の橋頭堡を基き  
には欠かすこと出来ない人であつた。十六才で志を立て上  
る。戦後一早く警備民主人民、新聞、牛乳配達や弁護士  
連盟をつくりあげて委員長となつた。書生などをしながら文字通り苦  
に石城地方民主化の先鋒をつとめ、早大在学中に労働運動に身  
を投じて、十九才の時からは、のちのち、佐多稲子女史  
に労働農民組合の専任書記として、同人雑誌を發行し、詩、俳  
句で闘つてきた戦前派、それだけに句に親しんだ文学青年時代もあ  
る。戦後派のようにケレン味があり、ユニークなユーモアまじり  
く濃厚な語りあげられた理論は、の語術は豊富な体験、知識と共  
に保守派も認めて、一方の斗も後輩の敬愛の的となつて、  
将である。タイヤなど自動車部、現在は社会党支部の顧問をし  
品の販売対象を主として保守陣で、代議士クラスの實力が  
層の人が多いだけに商売上ではありながら時を得ず地方議会の

大内近雄氏  
日新ゴム社長

## 集金サギ捕わる

丸仙市場から二十万円

## 前科三犯の男平署に

平署の手配で群馬県桐生署は十  
四日夜宮城東郡鹿沼市川町生  
無職詐欺前科三犯山本信雄(二  
九)を二十万円にぼる集金詐

## 勤務先からバイク盗む

平市豊野野泉崎の少年(一九)  
に乘っているのを車掌が見つけ  
平鉄道公安室に引渡した。二人  
の市内才植小路東京堂パン店  
吉田博(五)一方向からバイク  
ク一十三万円相当を盗んだ疑  
いで十四日夕平署に捕つた。

## 経済懇談会

常磐商工会議所主催の経済懇談  
会は二十日午後一時から同所会  
議室にひらく。講師は水産証券  
取締役渡辺洋、同福井進一氏

## 藤越でボヤ

十五日午前零時半ころ平市銀座  
通り藤越デパート三階食堂部  
冷蔵庫付近から出火、近所の  
ストランパール従業員堀川民夫  
さん(二八)の発見が早くた  
いで天井約三平方メートルを焼  
いて消止めた。平消防署と  
署で原因を調べているが、不良  
電気器具の過熱が、ろう電らし

## 労働文化講座

常磐市湯本公民館では八月一日  
から文部省労働文化講座を  
今年も行うことになり十五日甲  
とつたもので、山本方から勤  
労文化を説いた故郷子。

## 神田七年大賀六年 常磐の強盗に判決

常磐市偵察無職神田勝美(二二)  
同市生れ無職大賀義隆(二〇)  
二名の強盗殺人事件の判決公  
判は十四日午前十時から地裁平  
支部法廷で開き、神田に懲役七  
年、大賀に同六年の判決言渡し  
があつた。

## 家出少年が 無賃乗車

静岡県新富町、東京教育学院一  
年生の少年と近所の少年(いす  
富雄さん(四九)を附近の山  
に連れ込み、千円をかきと強  
盗、金を出さうとした石川さ

講師は朝日新聞社平通信局長  
不破三郎氏で会費無料、参  
加自由。

## からっ風

▽古河好問労働組では「希  
望退職募集」という経営  
者側の一方的戦術と血み  
どろのたたかひを、つづ  
けている。商店街でも一  
企業整備反対斗争協力の店」と  
いう表札をかけた「労働者の苦  
しみは私たちの苦しみ、みなさ  
んの生活を守ることが商人の生  
活を守ることおなじだ」と  
共闘を誓い立ち上つていゝ同  
労働組では在籍一七〇〇人に對し  
四割二分(二、五人に對し一人)  
という会社側のひどい首切り  
提案に反対してたたかつてきた  
村議をうごかし合理化反対、  
政策変更を決議させたのは、同  
労働組が全国で「いの一」であ  
つた。企業合理化は経済要求な  
らぬ、さういふ労働者にとつて  
は全く妥協のないたたかひであ  
る。正面切つて募集をはじめた  
会社側では職制、親せき、高利  
貸しなどを通じて巧妙にリスト  
をつくり、組合が阻止活動をや  
つても間にあわなくなるを  
見はからつて攻勢をかけてくる  
かも知れない。既に労働者の中  
には術策におち入つていゝもの  
だつてある。さういふ合理化の本  
質を見あやまらず全体の認識と  
理解を深め大衆のエネルギーを  
組織しながら最後までたたか  
ぬかなければならぬ。たたか  
いは村ぐるみ、地域ぐるみの力  
になり、今や全真的な力になら  
うといふ。心よくなつた  
うとして、孤立したり、逃げだしたり  
せず、ガッチリスクラムで  
たたかなければならぬ。

## 新聞講習会

平市街屋町浜通新聞印刷所主催  
の第二回新聞講習会は二十五日  
午後三時から同所で行つた。

山の災害を  
なくしましよ  
平 營 林 署  
署長 小堀 進

祝 創 刊  
山木工業株式会社  
取締役社長 志賀久太郎  
平市高久電(高久局)三番

祝 創 刊  
三益商事株式会社  
平市田町五三延ビル内  
電三三一六番

祝 創 刊  
志賀組 志賀昭美  
平市四軒町十七  
電四六六九

祝 創 刊  
株式会社  
スピイデー自動車商会  
代表取締役 大内 弘  
平市正月町一九電二四九〇

祝 創 刊  
野木健男建築設計事務所  
平市仲町十八番地  
電四七五九番

祝 創 刊  
株式会社  
丸仙平水産魚市場  
取締役社長 鈴木木蔵太  
電話(平)代表四一三七

